

協議會は此の爲めに政府の顧問となるべきものであつて國家の産業機關として永遠に存在すべきものである」と。

一九一九年三月の英國労働界の危機にロイド、デヨオチは此協議會を國家的に召集した。そして今や英國に於けるこの種の協議會は衆議院の如く重要なものになつたのである。

工場代議員制度の發達

ショップ、シチュワード（工場世話役會）運動も英國に於ける工場民主を盛んならしめた最大理由である。之は資本家の覺醒や政府の努力と違つて今迄の労働組合が政府の認定された公認機關となると共に私的工場内に於て私人的職工の利益を想ふ程度が鈍くなつたの

で起つたもので英國の戦時労働状態が産み出した一つの現象であるが今迄のやうに熟練職工のみが組合を造るものでなく國家的に合同する職工組合でもなく全く工場本位の労働組合とも云ふべきものであつて今迄の労働組合に反逆したものである。即ち今日の極端なる中央集權組合に反抗して工場内で自決の態度に出たのがショップ、シチュワードである。即ち彼等が工場自治を主張し出した理由である。

カークウッドとマアフ井イ

この反抗心の高まつて居る時にクライドにストライキが起つた。（クライド市はバアミングラム市に近き有名なる工業市）そして、カ